

## 日本YWCAの使命(ミッション)

イエス・キリストに学び、共に生きる世界を実現する  
世界の人々と共に人権・平和・環境の問題に取り組む

## 第29総会期主題

平和を実現する人々は幸いである—マタイによる福音書5章9節

## 日本YWCAビジョン2015

- (1) 非核・非暴力による平和を構築する
  - ・平和憲法をまもり、世界に広める
  - ・市民レベルで東北アジアの信頼関係を築く
  - ・女性と子どもの権利をまもる
  - ・ハレスチナYWCAの活動を支援する
- (2)若い女性のリーダーシップを養成する

# YWCA 11

NOV. 2009

発行所 日本キリスト教女子青年会  
〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-8  
Tel. 03-3264-0661  
【四谷オフィス】  
〒160-0008 新宿区三栄町6-12 2F  
Tel. 03-5367-1872 / FAX 03-5367-1873  
E-mail. office-japan@ywca.or.jp  
編集発行人 石井摩耶子  
振替 00170-7-23723 (毎月1日発行)  
定価1部 150円  
年間購読料2,200円(送料込)

[www.ywca.or.jp](http://www.ywca.or.jp)

## パレスチナ Witness Visit 世界16カ国より40人参加

J A I 主催、世界YWCA協力で、9月22日～10月2日に実施された「パレスチナWitness Visit」に研修として参加した岸朋子(日本YWCA職員)の報告です。

### 人が見える関係をつくる



家を奪われた少女。地元NGO・国連事務所も、一時的な支援しかできない状況。©日本YWCA

初めてのパレスチナ訪問での収穫の一つは、メディアによる固定観念が人々に打ち砕かれたことです。「紛争地帯だから物資もなく貧しい」という思い込みは「私たちは貧困ではない。占領から解放されれば自律して何でもできる」というメッセージによって変えられ、「イスラム教徒の女性は保守的で消極

化され、世界YWCA協力で、9月22日～10月2日に実施された「パレスチナWitness Visit」に研修として参加した岸朋子(日本YWCA職員)の報告です。

的」という疑念は「うちの子かわいいでしょ」とカメラの前でポーズする正装のママ友達たちによつてかき消され「男性たちは戦闘モードなのでは」といね!」というホテル近くの雑貨屋店主の毎度の挨拶で溶かされました。苦しい現状を大粒の涙を流して語つては大きな声で笑い飛ばしてしまった。パレスチナの人々が示す、大きな腕で他者を包みこむようによつてすべてがえられました。パレスチナの人々が示す、な度量は、今まで経験したことのないものでした。

私は今年9月からイギリスの児童虐待対応を学ぶため、1年間の予定でイギリスに滞在している。日本の児童虐待対応はイギリスの3年前の状況だといわれる。イギリスでは虐待死事件が起こることで社会が変わらないのは異なる。子どもの権利は社会が保障すべきという意識がある国だと思う。私はこうしたイギリスの虐待対応を研究し、今年共著で本を出版した(『子どもソーシャルワーカーとアドボカシー実践』明石書店)。今後イギリスでの実際的な対応の詳細を研究し、また日本に伝えていきたいと意気込んでいます。

第30回全国総会が開催されます

11月21日(土)～23日(月)  
(3面に関連記事)

## いま、地球市民として生きるために

### 世界YMCA/YWCA 合同祈祷週 2009年11月8日～14日

YMCA/YWCA 合同祈祷週は、世界中のYMCA/YWCAに連なる人々が、一つのテーマの下に祈り行動する機会として、毎年11月第3週に守られます。

#### 両会長からのメッセージ

親愛なる姉妹・兄弟の皆様へ

今年の合同祈祷週のテーマは「いま、地球市民として生きるために」です。地球市民というテーマに光を当てることで、私たちがコミュニティで抱える問題が地球規模の課題であること、そしてコミュニティレベルでそれらの問題に取り組む一方で、世界の連帯が必要であると見抜く重要性を強調したいと思います。

冊子の「考えてみましょう」の箇所では、移住・ジェンダー・経済の公正・気候変動の実情が記されており、地球市民の視座に立った洞察を与えてくれます。さらにこの箇所は、他の人々と手をつなぎ世界とつながるべく、私たちを快適な場所から外へと踏み出させ、私たちを「もはや、外国人でも寄留者ではなく、聖なる民に属する者、神の家族」とならさせてくれます。

キリスト者である私たちは、神の顕現、すなわち、神がキリストにおいて肉体となられることを通して闇と無知とから解放されます。私たちが目を開き世の中を見渡せば、神の顕現の神秘は日々私たちとともにあることに気付くのです。こうして目を開くと、非正規あるいは不法移民の中に、文化の違いにより差別される女性の中に、環境難民の中に、また、栄養失調の子どもの中に私たちは神の御姿を見ることでしょう。そして、このことはコミュニティや社会の中の寄留者に対する私たちの判断や理解に新たなチャレンジをもたらします。

最も弱く、自尊心を傷つけられ、尊厳を奪われた姿となって現れた神は、「誰もあえて名前を呼ばない者に話をし、誰も与えることができないものを与える」よう私たちの背中を押します。そして何よりも、私たちの解放は神の解放と密接に関わっており、運命は相互に結びつくものだということに目を向けるよう私たちを導きます。

さて、地球市民とは中産階級の特権か、もしくは物事を選択する時間的余裕のある人たちが独占するものなのか、あるいは多少の快適さを犠牲にする以外、失うものは何もない人たちに与えられたものなのでしょうか。

信仰は、キリスト者として私たちに、地球市民である以上に次のことを教えてくれます。「キリストにあって姉妹・兄弟なのです。地球市民が特別な立場の人たちに限定されるとき、それは他のほとんどの地球の人々の権利を剥奪します。キリストは遠く離れている人々がキリストの近くに来られるよう働きかれます。地球市民について議論される権力の中心においてではなく、ほんの一握りの人しか一杯の清潔な水を手に入れられないような社会の周縁において」。

世界YMCA同盟会長  
マーティン・マイスナー

世界YWCA会長  
スザン・ブレナン  
(翻訳:根岸朋子)

子どもの権利が保障される社会をめざして  
YWCAからの学び

宋留里美

私は熊本YWCAの若者グループPDYYに所属し、2003年には2代目代表を務めた。PDYYとは、主に若者が自身が若者対象に、ジェンダー・性教育や、その根幹にある人ととのつながりについてワークショップを行う活動である。この活動を通して、「性」について深く話せるかけがえのない仲間ができた。そして、韓国YWCAの国際交流キャンプや名古屋YWCAでの合宿などの多くの研修で多様な人権問題の知識を学んだ。同時に、人権問題の解決のために懸命に努力する人たちの存在を知ることができた。

活動を通して、子どもや若者について関心を持つた私は大学卒業後、不登校の子どものフリースペースのスタッフをし、その後は子ども虐待の現場で仕事をした。親から体罰や叱責を受け続ける子、家に食糧がなく給食だけを食べて生きている子、妹や弟の世話をするために学校に行けない子、家にも学校にも居場所がなく街を徘徊し犯罪に巻き込まれる子、救われるはずの養護施設で虐待を受ける子…様々な苦境を強いられている子どもたちがたくさんいることに驚かされた。日本にはないとそれがちな貧困や暴力が蔓延している。しかししながら、この状況を十分に改善できるようアリとあらゆる方法でパレスチナの人々は生きる権利を奪われています。

(熊本YWCA会員)



井戸端でサマリアの女性と主イエスは出会いました。水をめぐる対話をしている間にイエスは女性に夫を呼んでくるように語り、彼女は5人の男性と結婚してきたけれども、今共に生活している人は夫ではないと告げます。家に子孫を残すために、自分も生きるために結婚を繰り返す他なかつたかもしません。そうした痛みに触れて、イエスは「わたしは、キリストと呼ばれるメシアが来られるることは知っています」と答える女性、「わたしは、キリストと呼ばれるメシアが来られるることは知っています」と語りました。枯れ枝のようにうつむき歩いていた私に、主は語りかけて下さる。「わたしがそなのだ」と。生きていくことの重さをその肩に負ってきた、痛みに触れられ、ありのままの姿で自らを受け止められた時、私たちの内にある水脈にいのちの水が流れ始めます。そして、「神の恵みによって今日のわたしがあるのです（am what I am）コリンントの信徒への手紙ー15章10節」と賛美することができます。それは何にも代え難い「よき知らせ」福音です。

サマリアの女性は傷をおおわれて見えたかった新たな自分を見出したのではないでしょうか。彼女は、町に行つて同じように傷つき、癒しを必要としている人、打ちひしがれいる人に、「よき知らせ」を知らせました。わき出る水は、その人自身のあり方を回復させ、力を引き出すのです。

増田琴（日本キリスト教団巣鴨ときわ教会牧師）



「わたしが与える水はその人の内で泉となり、永遠の命に至る水がわき出る」  
(ヨハネによる福音書4章18節)

## 第30回全国総会お知らせ Women Creating a Safe World 女性が創り出す平和な世界

# 一人ひとりが立案者であり、実行者！

11月21日から、いよいよ第30回全国総会が開かれます。この3年間で見えてきた課題・成果をさらに発展させ、実りある30総会期を進めるための大切な総会です。

第一の議案は、公益法人新法への対応として、日本YWCA

一般財団法人申請の方向性も

視野に、日本YWCAのあり方をじっくり考えて方向性を定めたいと思います。

第二の議案として、戦後の日本YWCAの平和の取り組みのさらなる展開をアジア・太平洋地域の人々と連携して進めていくためにも、「アジア・太平洋戦争の謝罪と未来に向けての決意表明文」案を1日目の議事で決議いたします。文案については地域YWCAとの積極的なやりとりの中から生まれた原案であり、肅々と決議をとる予定です。その証人として韓国YWCAから会長・青年委員会担当常任委員・ユースの3名をゲストとして招待しています。また世

30総会期の方向性を考えると同時に、韓国YWCAは、新たな会員・新たな提案を

午後は分科会に分かれて、第30総会期の具体的な活動計画を検討します。私たちが抱えていた問題を克服しながら、YWCAの目標す「核」のない、暴力のない世界実現のため、小さくても豊かな実を結ぶことができるよう運動展開を計画したいと考えます。

そのため、下記のプログラムにあるとおり、インシューの活性化のための分科会5つと、組織の活性化のための分科会2つ、合計7つの分科会を用意しまし

た。夜は、8時には全体会終了の予定です。

3日の議事では、事業計画、2010年単年度予算の概要、公益法人新法への対応、前日の分科会から出された提案を準備しています。

1日目の夜はアジアをテーマに交流のひと時を持ちたいと、現在ユースを中心にプログラムを準備しています。

2日目、日曜礼拝の後、次に

30総会期の方向性を考えるとき

にします。まず、韓国YWCA

会長から決意表明に対する応答

メッセージを頂きます。次に日

本YWCAの課題と展望につい

ての発題があります。

午後は分科会に分かれて、第

30総会期の具体的な活動計画を

検討します。私たちが抱えてい

る、会員の減少・高齢化、プロ

グラムの行き詰まり、などの課

題を克服しながら、YWCAの

目標す「核」のない、暴力のな

い世界実現のため、小さくても

豊かな実を結ぶことができるよ

うな運動展開を計画したいと考

えます。

そのため、下記のプログラム

にあるとおり、インシューの活

性化のための分科会5つと、組

合計7つの分科会を用意しまし

た。夜は、8時には全体会終了

の予定です。

3日の議事では、事業計

画、2010年単年度予算の概

要、公益法人新法への対応、前

日の分科会から出された提案を

議案にしていきます。

た。夜は、8時には全体会終了

の予定です。

3日の議事では、事業計

画、2010年単年度予算の概

要、公益法人新法への対



弘前  
YWCA

# 創立10周年訪韓ツアー



訪韓の度に、明洞大聖堂の真下にある韓国YWCAの建物を横目にして、あの中で一体どんな活動が具体的になされているのかな、等と考えながら通り過ぎていた。20年も前からである。今回は、弘前YWCAが設立されて10周年を迎えて、設立に先立つ1年前から行ってきたYWCAハングル講座の仲間5人と、ようやくあの建物を訪れることが出来た。

にここにスタッフ一同が温かい笑顔で迎えて下さり、共に祈り、短い語らいの時間が持てたことは大きな喜びであった。総幹事室へ案内され、そこに並んだ歴代の会長の写真には見覚えのある方の顔が見られた。韓国YWCAは日帝時代の中で苦惱しつつ歩まれた。その心痛と日本への寛大な思いを思う時、私たちは世界に連なる同じYWCAとして「平和」実現のために歩み続ける思いを新たにさせられた。

日本で1番小さな弘前YWCAが何とか11年目を迎えて、これから歩むべき方向が示された思いがして、静かな深い感動に包まれて帰国の途についた。ソウルYWCAへも併せて案内していただき訪問することが出来たことも重ねて感謝する旅であった。

弘前YWCA 松村枝美

# お年玉付年賀ハガキ YWCAオリジナル9条年賀状 予約受付中!

日本YWCAビジョン2015委員会では、9条キャンペーンの一環として、2010年版年賀状を作成しました。今年も皆さんのリクエストにお応えして、お年玉付年賀ハガキに印刷しています。

- 各1枚100円+送料  
一度に合計300枚以上ご注文の場合  
1枚96円+送料
  - 締切：10月31日（土）
  - デザインは、日本YWCAホームページ  
でご覧いただけます。各YWCAにもお  
知らせしています。
  - ご希望のデザインと枚数・送付先・〒番  
号・住所・宛名を明記してFAXまたは  
E-mailでお申し込みください

【注文先】  
日本YWCAビジョン2015委員会  
FAX：03-5367-1873  
E-mail：[office-japan@ywca.or.jp](mailto:office-japan@ywca.or.jp)



今年のデザインは「萌黄(もえぎ)」と「さくら」の2種類です。

賛助費	(以下敬称略)
戸田照枝	向後理恵
兼清和子	金剛靜慧
玉生邦子	得永道子
志賀洋子	森際真知子
皆川悦子	松山恭子
鈴木みき	大原原則子
中橋美鈴	江崎啓子
石崎喜美子	西田和子
石川松子	世界YWCA賛助費
平和教育資金	金剛静慧 横山由美子
カトリック横浜教区	オーリークの木募金
依田康子	東口千津子
池田一雄	角田 健
皆川悦子	佐伯照美 森 恵津子
一般寄付	バレースチナYWCA支援募金
遠藤真理	横浜YWCA 平塚YWCA
鶴崎祥子	湘南YWCA 静岡YWCA
唐崎旬代	
ECPAT/ストップ子ども買春の会	ひろしまを考える旅委員会
2009年9月20日現在	

# 人をつなぎ、生かし、エンパワーする YWCAの出前ワークショップ



●出前ワークショップ第2期終了

日本YWCAビジョン2015委員会では、女性のリーダーシップ養成の一環として、地域YWCAや日本YWCAで展開するワークショップ＆ファシリテーターの派遣を実施しています。09年5月～9月にかけて、第2期として4つのYWCAにファシリテーターを派遣しました

- \* 静岡YWCA：5月9日（土）「平和のスキルを身につける」（ファシリテーター 二木佐知子・京都YWCAほーぽのぼの会）＝写真
  - \* 神戸YWCA：6月6日（土）「女性のための『新しい』リーダーシップトレーニング」（ファシリテーター 増井さとみ・名古屋YWCAもーやっこさわいり）

\*札幌YWCA：7月12日「核のない地球@9条—子どもたちに伝えるためのワークショップ」  
(ファシリテーター 藤原玲子・日本YWCAビジョン2015委員会)

\* 釧路YWCA：9月5日（土）「女性のためのこころとからだを自分でまもる セルフディフェンス講座」（ファシリテーター：具ゆり・ウィメンズカウンセリング名古屋YWCA）

ワークショップの前後には、ファシリテーターと参加者の集いを持ち、交流を深め、さらに課題の共有を図ったケースが多くありました。YWCAのリソースを共有し、それぞれのYWCAが活性化することを目的に実施した「YWCAの出前ワークショップ」の企画に対して、参加者・受け入れYWCAおよびファシリテーターを送り出しYWCAから、評価と今後の期待が寄せられました。

#### ●「核のない世界@ 9条」in中高YWCA夏のカンファレンス

8月4日、とわの森三愛高校を会場に、中高YWCA北海道・東北ブロックの夏のカンファレンスで、札幌YWCAの会員が中心となり「核のない世界@9条—子どもたちに伝えるためのワークショップ」を実施しました。事前のリハーサルに中高YWCAの生徒さんが参加してくれたなど、中高YWCAと札幌YWCAのよい協力関係の下、中高生と大人が一緒に核の問題を考える機会となりました。参加した生徒からは、「あの湾岸戦争のあの悲劇も改めて知り、ショックでした。核なき世界の実現とよりよい世界の実現にもっと真剣に取り組んでいきたい」などの感想が寄せられました。



## ●「核のない世界@ 9条」inカトリック平和旬間のつどい

8月9日カトリック横浜教区正義と平和協議会主催の平和旬間のつどいで、神奈川県にある聖セシリア女子中高を会場に、「核のない世界@9条—子どもたちに伝えるためのワークショップ」を実施。このワークショップは昨年5月の9条世界会議で日本YWCAが実施したもので、その場に参加されていたカトリックの浜崎眞実神父より声をかけていただき、実施の運びとなりました。当日は、ビジョン2015委員会から横山由美子・藤原玲子の2委員がファシリテーターとなり、26人の参加がありました。